

狭山市立堀兼小学校 令和元年度全国及び埼玉県学力学習状況調査結果

◆埼玉県学力・学習状況調査並びに全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われた埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査の結果及びその分析、今後の手立て等について、以下のとおりご報告いたします。今後とも本校児童の学力向上への取組につきまして、保護者・地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

◆埼玉県学力・学習状況調査

- ①実施日 平成31年4月11日(木)
- ②実施学年 4～6年(中学校3年まで実施)
「学習内容がしっかり身に付いているか」に加え「個々の学力がどれだけ伸びているか」を視点に学力の「伸び」を把握するのが特徴です。
- ③実施教科 国語・算数
調査結果

ア 各教科の平均正答率(%)

学年	教科	本校	狭山市	埼玉県
4年	国語	60.7	55.8	56.1
	算数	72.0	71.1	70.2
5年	国語	48.4	50.3	52.3
	算数	66.9	66.5	68.2
6年	国語	60.7	60.4	62.2
	算数	60.6	60.8	61.5

イ 学力のレベルと伸び(国語)

学年		29年度	30年度	31年度	伸び
4年	本校	—	—	6-C	—
	市	—	—	5-A	—
	県	—	—	5-A	—
5年	本校	—	6-C	6-C	0
	市	—	6-C	6-C	0
	県	—	6-C	6-B	1
6年	本校	5-B	6-B	7-B	3
	市	5-A	6-B	7-B	3
	県	6-C	6-A	7-B	2

ウ 学力のレベルと伸び(算数)

学年		29年度	30年度	31年度	伸び
4年	本校	—	—	5-B	—
	市	—	—	5-A	—
	県	—	—	5-B	—
5年	本校	—	5-C	6-B	4
	市	—	5-B	6-B	3
	県	—	5-B	6-B	3
6年	本校	5-B	6-B	6-A	1
	市	5-C	6-C	6-A	2
	県	5-B	6-C	6-A	2

※学力のレベルについて

小学校4年生から中学校3年生まで12の段階に学力のレベルを設定し、さらに各レベルを上からABCに分けて表現しています。児童一人一人や学校の学力を36段階のレベルで見ることになります。

⑤結果の概要

正答率において、4年生では国語・算数ともに県平均を上回りましたが、5・6年生では県平均を下回る結果となりました。いずれの教科、学年においても、「書く能力」「記述式の解答」で大きく県平均を下回っている点が課題として挙げられます。前年度からの学力の「伸び」についてですが、5年生の国語で学力上位層を除いて若干のレベルダウンが見られましたが、算数ではどの階層でも伸びが見られました。6年生についても、国語・算数ともにどの階層でも伸びが見られました。質問紙調査の結果からは、平日の家庭学習の時間が県平均を下回っており、家庭学習の時間が学年×10分以下の児童の割合がやや多いことがわかりました。

これらの結果を受け、児童の「書く力」について、それが身に付けられるよう国語の授業を中心に研究を深めていきたいと思えます。また、家庭学習についても、ご家庭の皆様と連携して充実を図ればと考えています。

◆全国学力・学習状況調査

- ①実施日 平成31年4月18日(木)
- ②実施学年 6年
- ③実施教科 国語・算数
- ④調査結果(各教科の平均正答率:%)

教科	本校	狭山市	埼玉県	全国
国語	63.0	59.0	64.0	63.8
算数	60.0	64.0	66.0	66.6

⑤結果の概要

国語では特に「書くこと」に課題が見られました。算数においても「記述式の解答」について、国や県の平均を大きく下回る結果となりました。県の調査と同様、「書く力」を伸ばす必要があることがわかりました。質問紙の結果からは「早寝・早起・朝ご飯」といった基本的な生活習慣の確立が不十分な児童が多いということも判明しました。家庭学習の時間も国や県の平均より約30～1時間少ないという結果でした。

県の結果のところでも申し上げましたが、今後も、国語と算数ともに基礎的・基本的な内容の徹底を行うと同時に、「書く力」の習得を意識した授業展開に努めていきたいと思えます。